

可搬式浄水装置による給水支援

- R6能登半島地震における給水支援として、(独)水資源機構が保有する可搬式浄水装置2台を投入。
- 地震により浄水能力が失われた石川県珠洲市において、郊外にある亀ヶ谷(かめんた)池で給水支援。
- 浄水装置は2台とも設置を完了、12日(金)からは飲用水を提供中。
※ 生活用水としては、9日(火)より提供。

【可搬式浄水装置の特徴・効果】

- ・ 海や河川から取水して浄水することが可能であり、飲料水としても利用可能。処理能力は、1台50m³/日。
- ・ ほとんどの給水車が金沢市と7時間以上(注1)かけて往復しているところ、珠洲市役所まで約20分に短縮される。大型給水車 約15台分(注2)の往復を解消。
(注1) 深夜早朝の場合(1/9時点)の所要時間。(注2) 稼働率を75%、給水車の容量約5000lと仮定。



自衛隊給水車へ注水状況



給水車へ注水状況



可搬式浄水装置全景